

ちえのわ不動産だより

第35号 2016年2月28日
 発行:(株)ちえのわ不動産
 岡山市中区中納言町3番22号 売
 TEL:086-206-2836 FAX:086-206-2837

ちえのわ不動産とは

ちえのわ不動産はライフスタイル提案型の不動産屋。設計事務所です。
 私たちの考える暮らしに「少しでも共感していただける方、ぜひうちで物件を探したり設計を相談したりしませんか？」



「私たちの考える暮らし」

- ・ 街中の便利な場所に住む
- ・ 小さな家でミニマムに暮らす
- ・ 自分の住まいは自分で作る
- ・ 食べ物に気をつけよう
- ・ 家庭菜園を楽しむ
- ・ 石けんを使う
- ・ 木のおもちゃで子育て
- ・ 循環型の生活を目指す

不動産担当: 今中 大介
 設計担当: 今中 智恵子
 営業部長: 今中 幹太

ました。不動産屋員になってそんな勉強が役に立つことに気づいたのは、去年9月の常総市の洪水がきっかけでした。あの洪水の後、お客さんから次々に「川の近くの土地は危ないから避けたい」と言われ、川の近くでも自然堤防なら比較的安心だけど、川から離れていても危険な場所(旧河道)もあるはず、でも分からない...と考え、私も勉強するつもりで専門家に来ていただきました。

私が高橋先生にお目にかかるのは5年ぶり。ゆくりとお話するのは卒業以来14年ぶりでした。高橋先生の講演はとても興味深い内容でした。大学の授業でこんな感じで懐かしい思いになると同時に、戦前までの人たちが経験的に伝えてきた災害の気徳が高度成長で途絶えてしまい、危険な場所も次々と開発してしまつた事実は、これからの不動産屋員の生き方も考えさせられました。人間は自然に対して非力な存在です。講演はあっという間に時間が過ぎました。高橋先生、ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました。

地図と鉄道のためのトークショー開催はは



会場の様子

1月23日(土)にネイロ堂(岡山市北区番町)で「地図と鉄道のためのトークショー」を開催しました。ネイロ堂は、これまで古墳や仏像、筋肉といった題材で、色々な女子を虜にしてきた「サブカル女子の聖地」。私が比較的得意な「地図」と「鉄道」を

テーマにイベントを企画しました。当日は約10名が来場。まずは古書五車堂の中川さんが戦前に浮世絵のよう鳥瞰図で人気がある「吉田初三郎」について解説。その後は私が用意した、西大路鉄道と下津井電鉄の廃線跡を地形図に色を塗って再現する作業。「あー、ここに鉄道が走ってたんだ」という声があちらこちらから聞こえながら楽しく作業していただきました。終了後、「地図と鉄道が女子だったことに気づいたかも」「親が西大路鉄道の思い出を語りかけて親子でおしゃべりができた。」など感想をいただきました。ご参加ありがとうございました。

TAP MAP 上棟しました

弊社で設計している新築住宅 TAP MAP がそれぞれ1月と2月に上棟しました。

TAPは1月に上棟。1階部分のコンクリートは完成していたので2階と3階の木造部分を棟上げ。朝からクレーン車がやってきて木の骨組みと屋根組みを1日で作業します。夕方に行つた上棟式では、ベテランの大工さんによる祝詞(のりと)、神主さんのような追加のある祝詞に、お施主さんも私たちも厳かな気持ちになりました。

MAPは2月に上棟。こちらは2階建の建物。工務店員によって上棟の作法が色々あるようで、朝の8:00からお施主さんも一緒に基礎の四隅にお酒と塩で「お清め」してからスタートになりました。上棟が終わつた後は、ご近所さんに集まっていたので、餅まきを行いました。



無事に上棟が済んでホッとしています。上棟餅まきの様子
 ここから本格的な大工工事が始まります。

高橋学先生の講演会を開催はは

1月30日(土)に立命館大学の高橋先生を招いて講演会を開催しました。高橋先生は環境考古学が専門。災害の歴史を研究されています。私が学部生として勉強していた頃、「旧河道(昔、川が流れていた場所)だけには家を建てるな」と散々授業で言われ

ちえのわ不動産は4周年

2月29日で、ちえのわ不動産は4周年を迎えます。会社を設立する時、どうせなら覚えられる日に登記しようと「うるう日」を選びました。あ、と言う間に過ぎた4年間、これまでに出会ったすべてのお客さまに感謝です。これからも、よろしくお願ひ申し上げます。

ちえのわ不動産

cienowa real estate

岡山市中区中納言町3番22号 売

http://www.cienowa.com

info@cienowa.com

TEL:086-206-2836

FAX:086-206-2837

定休日: 水曜日

来店時はご予約ください

